

2021 県人事委員会勧告

<報告・勧告のポイント>

1. 本年の給与改定

- ・ 月例給の改定なし
- ・ 特別給（ボーナス）を 0.15 月分引下げ

2. 給与カーブの見直し

職務や責任に応じた給与制度となるよう、
給与カーブを見直し

神奈川県人事委員会は 10 月 14 日、本年の給与等に関する報告を神奈川県知事及び県議会議長に対し行いました。

主なポイントは、①民間給与との較差△16 円を埋めるための給料表及び諸手当の改定は行わない。②一時金については、0.15 月引下げ、民間の支給状況等を踏まえ、期末手当の支給月数に反映。③給与カーブの見直しを勧告しました。

この間、湘南教組は、神教組、県労連に結集して、県人事委員会に対し、学校現場で子どもたちのために感染症対策をしながら奮闘する現場教職員の賃金や休暇制度等の権利向上の実現にむけてとりくんできました。しかし、民間給与と実態等を反映したものであるものの、月例給の改定が行われなかったこと、一時金の大幅なマイナスが勧告とされたことは、極めて不満の残る結果となりました。さらに、最大限の努力を求めていたにもかかわらず給与カーブの見直しについては、水準の引下げにより、高齢層職員のモチベーションに大きく影響を与える勧告となりました。

県労連は、人事委員会報告・勧告に対する声明を出し、2021 賃金確定闘争を全力でとりくむ決意を表明しました。湘南教組は、県労連に結集し、引き続き賃金・労働条件の維持・改善をめざしてとりくんでいきます。

統一職場集会を開催し、今後のとりくみ（3 点セット等）について確認してください。 勧告の賃金アップ・労働条件改善を実現させるために、各分会が団結し、とりくみをすすめます！！

茅ヶ崎市教委との全体交渉

10月8日、茅ヶ崎市教育委員会と「教育施策・予算に要求全体交渉」を行いました。執行部から①人員確保（代替者の確保&市費講師・ふれあい補助員・ICT 支援員の増員など）②各校配当予算の増額③多忙解消・教育効果の向上（給食費公会計化・会計業務専門の人・ICT 機器の充実など）について要求しました。

市教育委員会からは、

- ①慢性的に人が足りない状況にある。現場の先生方の情報ネットワークも借りながら、そして、ほかの自治体や大学等とも連携しながら探していく。ふれあい補助員や ICT 支援員等は、各学校の状況を見ながら適切な配置に努めていく。
- ②コロナ禍で、今年度の予算も厳しさが予想されるが、予算確保に向けて努力はしていく。備品など高額のものは、購入したいものを具体的に要望してもらえると、予算を確保しやすくなる。
- ③多忙解消には必要なことだと認識している。給食費公会計化については、他市町の状況を確認しながら検討していく。ICT 機器についてはパソコン等配備検討委員会などで学校現場からの意見を聞きながら、必要に応じた予算要求をしていく。

という回答がありました。

子どもの豊かな学びを保障し、教職員の主体性、創造性ある教育活動が展開されるよう、今後も分会員、執行部が一丸となつてとりくむことが重要です。



「お米一人一合運動」にとりくみます！

「お米一合運動」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮が広がる「ひとり親世帯」等を支援するために、神奈川県内の労働組合・福祉団体が中心となり、2020年10月からスタートしました。昨年度は、湘南教組で130キロのお米を集め、神奈川全体で5トンのお米を寄贈することができました。今年度もたくさんのお米を届けたいと思いますので、ご協力をお願いします。

子ども食堂等を通して、お米を受けとった方からの声



子どもに、ちゃんと食事をたべさせてあげれます。子どもからも、「朝、ご飯たべれるね。」って言われました。本当に助かります。



アルバイト時間も短縮され、お金がなく厳しい状況で、このような支援はとても有難いです。地域の方々に支えられ学生生活を送っていることを忘れなないようにします。



子どもからも誰から貰ったの？と興味を持ち、助けてくれる寄付者がいることを伝えました。すごいね。かっこいいね。と、私もいつか子どもと一緒に誰かを助けられるようにがんばります。



詳細はチラシをご覧ください。

お米一人一合以上

大歓迎！

人間ドック・教員免許更新講習の補助金申請を忘れずに！

振興会ハンドブック

P.89に人間ドック受診費用補助請求書（領収書も必要です。）

P.90に教員免許状更新費用等補助請求書（更新講習がすべて終了した年度末までに請求してください。添付書類は必要ありません。）

の様式があります。申請書にご記入の上、事務職員さん経由で県の福祉振興会に提出をしてください。



女性部だより

〈育児短時間勤務制度行使状況アンケートより〉

アンケートへのご協力ありがとうございました。行使されている方や現場の学校の生の声を、少しですが抜粋でお知らせいたします。

2021年度行使状況（10月12日現在）鎌倉3校、藤沢11校、茅ヶ崎20校、寒川1校

《行使している方の声》

- 自分子どもと関わる時間がしっかりとれるようになったので、本当にありがたいです。4月初めに管理職から、勤務形態について他の職員に話してもらえたので、職場の理解が得られました。
- 仕事を休んだり、辞めたりしなくて済んだので、よかったです。
- このような制度があることで、段階的に仕事に復帰させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。
- 保育園に入れず8時半からの受け入れの幼稚園のため、フルタイムの勤務が不可能でした。この制度のおかげで勤務を続けられています。
- 授業時数に上限がないために、勤務時間いっぱい授業が入り、授業準備の時間が取れないことがあるので、改善できるとよいです。
- この制度を行使する人とそうでない人の両者が気持ちよく働ける環境がさらに整うことを願っています。
- 教材研究の時間がなかなか取れなかったり、他の先生方とのコミュニケーションが不十分であったり、学校の情報が入りにくいところが難しいです。
- 校務分掌の負担を軽くしていただき、ありがたいです。
- 勤務形態がもっと選べるとよいと思います。
- 専科だと、一つの教科の学習指導を深めるといった経験ができる。
- 周りの方々のご理解・ご協力があり、時間的にも心にもゆとりをもって子どもに接することができる。
- 校務分掌が持てない等、他の方にしわ寄せがいきってしまい、申し訳なく思っています。育児短を認めていただけていること、大変ありがたく思っています。

《現場の声や課題》

- 短時間勤務だと、放課後の会議や打ち合わせに出られず、生徒情報を共有できないまま授業をするというのが課題。
- 女性も男性も取りやすい制度となればよいと思います。
- 現場のことを考えると、まだ育児短を取れる期間にあたる人も遠慮してしまうところがあります。
- 仕事と育児を両立する職員のためにもこちらの制度は続けてほしいです。
- 行使したい人はいるが、現状人不足のために行使できない。せっかくこのような制度があるのに人手が足りない。
- 時短勤務を利用している職員がいるからと言って学年や学校の仕事量は変わらない上に、人数としてカウントされているから、うしろめたさを感じながら帰らなくてはいけないのが現状。

アンケートを読むと、育児短の制度はとても有効な制度で、感謝されている声が多くあります。その反面、様々な個人の事情があるので、勤務形態の検討や現場の学校の協力も必要です。希望する勤務形態とあわない、また現場に迷惑をかけてしまうのではないかと思います。希望する人もいるようです。現場の多忙解消や、代替者の確保の点でも問題は残されています。希望する人が気持ちよく行使でき、現場も余裕を持った受け入れ態勢が整うよう、制度改善に向けたとりくみを続けていきたいと思っています。

執行部のつばやき

今年の夏。2年ぶりに戻ってきた全国高校野球選手権甲子園球場の風景。テレビに映るアルプススタンドの様子は、以前とはだいぶ違っていた。コロナ禍で本当に実施するのかという声もあり、選手は複雑な思いを抱いて試合に臨んだのかもしれない。それでもプレーボールの聲がかかれば、精一杯白球を追う姿は例年と変わらない。甲子園球場に響く出場校の校歌。郷土の代表として校歌を歌いながら、郷里の景色を思い浮かべている選手もいるのかなあ…。そう言えば我がふるさとは、今どんな様子なんだろう…。

新型コロナウイルスが問題となって以降、為政者の言う通りに、帰省を見送ってきた。年末年始、GW、お盆と最低年3回の帰省が当たり前だった私にとっては、たいへん大きな出来事である。帰省する度に、さびれていく郷里の様子に心を痛めていたが、もう2年近くその景色を目にしていない。みんなどうしているかなあ…。さらにさびれてしまっているのかなあ…。と思うと、帰省への思いは募るばかりである。

私は、大学進学と同時に神奈川県にやってきた。そして現在、縁あってここ湘南の地で教職についている。高校時代まで郷里で過ごしたが、かつて通っていた小中学校は、もうすでにない。少子高齢化の影響で人口が減り、学校の統廃合がすすんだためである。今も、小中学校の校歌を覚えている私は、時々、知らず知らずのうちに口ずさんでいることがある。すると、9年間の思い出が巡り巡ってくる。(この季節は、「なべっこ遠足」の時季かあ。コロナ禍では、真っ先に中止になりそうな行事だけど…。)



今、学校統廃合の波は、少しずつ神奈川県内にも及んできている。母校がなくなってしまうことは、たいへん残念なことだが、人口減の流れは、なかなか止まりそうにない。大人になって過去を振り返った時に、あの時があったからこそ今の自分があると、前向きに考えられるような思い出を残すことができるよう、子どもたちの学校生活を意義あるものにしていきたい。

湘南教組 当面の活動予定

日程	予定	開始時刻	場所	対象
10月18日(月)	鎌倉地域協議会	16:30	鎌倉芸術館	分会長
10月19日(火)	茅ヶ崎・寒川地域協議会	16:30	湘南教育会館	分会長
10月21日(木)	藤沢市各課要求	15:30	藤沢市役所	執行部・各専門部
10月22日(金)	藤沢地域協議会	16:15	湘南教育会館	分会長
11月2日(火)	寒川全体交渉	15:45	寒川町民センター	執行部・各専門部
11月4日(木)	藤沢分会要求	15:30	藤沢市役所	執行部
11月5日(金)	湘南中央委員会	16:15	藤沢市民会館 小ホール	中央委員
11月12日(金)	茅ヶ崎分会交渉	14:00	茅ヶ崎市役所	執行部
11月12日(金)	確定闘争報告会	18:00	Web	分会長

湘南教組の情報をより早くうけとりたい方は、こちらからメルマガのご登録をお願いします。コロナ禍の服務に関わること、学習会の開催情報、その他にも組合員のためになる情報を定期的に発信しています！

